資料2-1

東和地区白木半島エリア(白木線)の第一次実証運行計画(素案)について

実証運行計画(素案)の概要

●見直しの内容:

- ・町立東和病院、伊崎下、地家室園地のバス停を新設する。
- ・大地浦のバス停は廃止する。
- ・定時定路線での運行を基本とするが、伊崎・伊崎下バス停は予約制(デマンド運行)とする。(予約が無い場合は農道経由として通過する)

・デマンド運行については、運行事業者へ電話等で連絡して配車する仕組みとし、配車システム

等は導入しない。

令和8年春の実証運行時の白木線のイメージ

____ 定期運行区間

不定期運行区間



●「町立東和病院」バス停の新設

- ・東和病院敷地内の玄関前(風除付近)に乗降場所を設ける。
- ・東和病院が開門している平日8:00~17:00の間のみ乗り入れを行う。
- ・東和病院患者輸送バス(佐連・沖家室方面)は当面の間運行を継続する。
- ・東和病院を受診した人を対象とした無料措置を講じる。(方法は調整中)



参考:奥畑線乗合タクシーにおける大島病院受診患者の無料措置



●「伊崎下」バス停の新設

- ・伊崎地区の集落入口にある旧選果場前にバス停を新設する。(民地内)
- ・予約に応じた運行とし、指定時間までに予約をした場合に当該バス停で乗車が可能。当該バス停で降車する場合は、乗車時に運転士に口頭で申し出る。
- ※伊崎バス停も予約制とし、同様の方法で運行する。





●「地家室園地」バス停の新設

・地家室園地付近の県道沿いにバス停を新設する。



●運行ダイヤ案

- ・町立東和病院に乗り入れる便については所要時間を2分延長する。
- ・三下〜地家室間の所要時間について、伊崎下バス停を経由する場合は18分程度、経由しない場合は8分程度を想定している。現状の利用状況を想定し、当該区間の所要時間は従来通りの13分とし、三下または地家室で時間調整を行う。

(伊崎下バス停を経由する場合、5分程度の遅延が見込まれる)

- ・東和小学校の通学に合うように時間を設定する。
- ➡詳細は別添時刻表を参照。

●運行ダイヤ案

・令和7年10月(本日) 運行計画素案の承認

· 令和7年11月 地元説明会(伊崎地区)、事業者等調整

・令和7年12月 活性化協議会にて運行計画案の承認

・令和7年12月末 運輸支局へ変更申請

・令和8年1月末 運輸支局の承認

・令和8年2月 条例改正手続き

・令和8年3月 条例改正

・令和8年4月 実証運行開始